

令和2年7月21日

令和2年

第6回教育委員会定例会会議録

大田区 池上会館

令和2年7月21日（火曜日）午後3時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	
北 内 英 章	委 員	

2 出席職員（13名）

教育総務部長		玉 川 一 二
教育総務課長		政 木 純 也
副参事（教育地域力担当）		丹 野 詩 織
指導課長（幼児教育センター所長兼務）		岩 崎 政 弘
副参事		早 川 隆 之
副参事（法務担当）		平 栗 敬 子
学校職員担当課長		池 一 彦
教育センター所長		柿 本 伸 二
大田図書館長		長 岡 誠
指導課 統括指導主事		木 下 健 太 郎
指導課 統括指導主事		志 賀 克 哉
指導課 統括指導主事		古 川 大 輔
指導課 指導主事		山 崎 大 志

3 日程

日程第1 令和3年度使用中学校教科用図書調査委員会からの報告

~~~~~

（午後3時00分開会）

#### ○教育長

ただいまから、令和2年第6回大田区教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、教科用図書調査委員会からの報告がありますので、大田区教育委員会会議規則第14条により、加藤一俊教科用図書調査委員会委員長、田谷至克副委員長及び教科書採択関係職員の出席を求めています。

本日は、傍聴希望者がおります。

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、又は拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染の拡大を防止するため、本日はマスクをお持ちの方については、マスク着用の上で審議を進めさせていただくとともに、効率的な会議運営にご理

解、ご協力をお願いいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしていますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に弘瀬委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第1は、「令和3年度使用中学校教科用図書調査委員会からの報告」でございます。

#### ○教育長

それでは、令和3年度から使用する中学校教科用図書の調査報告について、教科用図書調査委員会の加藤委員長及び田谷副委員長から報告を頂きます。

前半は、国語、書写、社会、地図、数学、理科について報告を頂きます。5分間の休憩を挟みまして、後半は、音楽、美術、保健体育、技術家庭、英語、道徳について説明をお願いいたします。

#### ○加藤委員長

それでは、ご報告いたします。

まず、報告書の1ページをご覧ください。教科用図書調査委員会は、5月14日の第1回から7月7日の第3回にわたり、採択対象となる教科書について慎重に調査検討を行い、教育委員会の採択審議に関わる調査資料を取りまとめましたので、本日、報告書を提出いたします。

教科用図書調査委員会の調査研究及び審議検討にあたりましては、教科用図書資料作成委員会が作成した調査資料に基づき、また、学校意見及び区民意見も含めて、公正かつ適正に審議検討を進めてまいりました。

この内容についての概要を報告いたします。4点ございます。

まず、1点目でございます。調査対象の教科用図書は、文部科学省検定済みであり、内容面や人権上の配慮等については十分に検討されており、どの教科用図書が使用されても学習指導要領に示された教科の目標が達成できるという前提で協議いたしました。

2点目でございます。本委員会では、資料作成委員会報告書、学校意見、区民意見の3者を基礎資料にして、その妥当性を確認しながら、委員の調査資料に基づき、検定済み教科用図書全てについての特徴を整理いたしました。学校意見につきましては、報告書のその他の項目でご報告いたします。また、区民意見については、非常にたくさんのご意見を頂き、特に、社会科の歴史的分野、公民的分野、道徳について、様々なご意見を頂きました。区民意見につきましては、事前に送付されております、提示の資料にまとめておりますので、こちらをご確認ください。

3点目でございます。本委員会における調査は、大田区教科用図書採択要綱実施細目に示された内容のおさえ方、構成・分量、表現、使用上の便宜の4つの観点から実施し、教育委員会における採択事務が適切かつ円滑に行われるよう、大田区の生徒の実態を考慮しながら、客観的に報告できるように努めました。

4点目でございます。6月1日から6月30日までの期間中、教科書展示会場に、391名の区民の皆様にご来場いただくとともに、ご意見を頂きました。また、学校意見は、中学校全28校から出され、それぞれの教科用図書についての細かな意見が出されているので貴重な資料となりました。教科指導の専門家としての見方を尊重しつつ、資料作成委員会との整合性にも配慮しながら、協議を進めてまいりました。

以上が概要でございます。

それでは、早速、入らせていただきます。

国語の特徴についてのまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の2ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。育てたい資質・能力を「東書」は、本編の「言葉の力」と基礎編の「学びを支える言葉の力」に、「三省堂」は、「読み方を学ぼう」を中心に「思考の方法」「語彙を豊かに」で補足し、「教出」は、「学びナビ」に、光村は、「学習の窓」を中心に「思考の地図」「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」で補足してまとめています。「東書」「三省堂」「光村」は、育てたい資質・能力を巻末や折り込みで一覧にし、授業や自学自習の際に頻繁に活用できるようにしております。

次に、構成・分量です。「東書」は、漫画で描かれた「学びの扉」で教材に導入し、「学びを支える言葉の力」で基礎的な資質・能力を身につけ、本編の教材で活用し、確かな言葉の力を身につける構成となっております。「教出」は、教材文の前に「学びナビ」で何を学ぶかを解説するとともに、学び方を図解し、教材文をより深く読むことや、表現活動の中で働く思考力を学ぶことができる構成となっております。「三省堂」「光村」は、学習過程にポイントを示し、教材の中で活用することを通して学びを深める構成となっております。

次に、表現です。「読むこと」の教材について、「三省堂」は、「学びの道しるべ」の上段に示す学習活動に、また、下段の「思考の方法」や別ページに図解された「読み方を学ぼう」を活用する場面を設定しております。「読み方を学ぼう」は、非常に汎用性が高いという肯定的な学校意見が多くありました。「光村」は、「学習」に見通しを持つ、捉える、読み深める、考えを持つ、振り返るといった学習過程を示し、個から集団、そして個に戻って学びを深めることができる学習活動を例示しております。また、生徒が興味・関心を持って学習できる指導実績がある文学教材や、論理的で分かりやすい説明文教材を掲載しているという肯定的な学校意見が多くありました。

次に、使用上の便宜です。「東書」「光村」は、著名人による本の紹介、多くの関連図書の掲載、読書を中心にした学習活動を掲載しており、読書教材が大変充実しております。「教出」は、SDGsを踏まえた特設教材や、「漫画」「脚本」「絵コンテ」など生徒の関心が高い分野を教材化した「メディアと表現」を設定しております。「三省堂」の古典教材は、折り込みカラーページで絵や写真、年表を示し、言葉だけではイメージしにくい内容をビジュアル化して補完しております。2次元バーコードを活用したコンテンツについて、「教出」は、自学自習に活用できる教材を、「光村」は、理解を補完する資料を、「東書」は、教材・資料の両方を充実させています。

最後に、その他、学校意見では、「光村」に肯定的な意見が多くありました。

国語についての報告は、以上でございます。

続きまして、書写の特徴について、まとめた結果の要点を報告いたします。報告書の3ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。文字を正しく整えて早く書くためのポイントについて、「東書」は、「書写のかぎ」と「確かめよう」に、「三省堂」は、紙面上段を広く使って「書き方を学ぼう」に、「光村」は、「学習の窓」にコンパクトにまとめています。「教出」は、「考えよう」に筆の動きが分かる写真図版を用いて、ポイントを解説しております。「光村」も「確かめよう」に写真図版を用いております。

次に、構成・分量です。「東書」「教出」「光村」の各教材は、主に発見、ポイントの確認、活用、振り返りの順で構成されています。「教出」「光村」の振り返りは、チェックボックスを用いていますが、「東書」は、学んだことを説明する活動が示されております。「三省堂」は、ポイントの確認、発見、活用の順で構成され、複数の教材で学んだことを振り返って自分の言葉で学んだことを書く構成となっております。また、硬筆への活用教材は、他教科等の学習や生活場面で使用頻度の高い文字や教材を選んで充実を図っております。

次に、表現です。「東書」「光村」「教出」は、1つの教材を見開き完結のレイアウトで、「三省堂」は、毛筆の学習を硬筆に生かすための練習ページをまとめて編成しております。「光村」は、硬筆の練習を別冊にし、より簡潔な紙面構成にしております。

次に、使用上の便宜でございます。「東書」は、学習のヒントをイラストと吹き出しで示している表現が多い点、動画コンテンツ解説が非常に詳しい点など、生徒目線で内容の充実を図っております。「教出」は、生徒が学習内容を活用する場面や作品例に多くの写真を用いて、学習内容の習得と活用への意欲の向上を図っております。「光村」は、硬筆教材の分冊化と2次元バーコードを多くのページに設定することで、簡潔な紙面構成を補完しております。

最後に、学校意見では、「光村」に肯定的な意見が多くありました。

書写についての報告は、以上でございます。

続きまして、社会地理的分野の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の4ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」では、「世界の各州」「日本の各地方」等の学習の導入で「探究課題」に関連した写真が掲載されています。「探究課題」を解決するコーナーが設定され、課題解決的な学習となっております。また、「ふだんの多摩川河川敷と大雨の時の様子」も掲載しています。「教出」「帝国」の導入では、「学習テーマ」に関連した各地域を代表する写真が掲載されております。まとめの活動では、章や節の末尾に配置した「基礎・基本のまとめ」「まとめの活動」として、穴埋め形式や、シンキングツールを活用した活動が設定されております。「帝国」では、地図の読み方等を紹介する「技能をみがく」を設定しております。「日文」の導入では、地域に関する写真についてのクイズを掲載しております。

次に、構成・分量です。各発行者ともに、1時間の授業を見開きで設定しており、基本的には、「導入」「学習課題」「本文」「振り返り」の流れとなっております。「東書」は、要所で「見方・考え方」を提示し、考える手掛かりとしております。「教出」は、世界の諸地域・日本の諸地域に最も多くの時間を配当しています。「日文」では、「学習課題」

に併記する形で「見方・考え方」が示されております。

次に、表現です。各発行者ともに、カラーユニバーサルデザインや、特別支援教育の視点に配慮しており、文字はユニバーサルデザインフォントを採用しております。「東書」では、章の扉のページに、小学校社会の学習を振り返る内容が掲載されているほか、資料の近くに「分野関連マーク」をつけております。「日文」では、各章の扉のページに「小学校で学習した内容」を示しております。「教出」「帝国」「日文」では、小学校の関連内容を見開きの下部に示しています。

次に、使用上の便宜です。「東書」の特設ページ「資料から発見」では、具体的な活動を通じ、資料の読み取りの学習を深めるよう工夫されています。2次元バーコードのリンク先には、歴史・公民との関連ページや地図の示し方による都市の位置のシミュレーション等が含まれております。「教出」の特設ページでは、読み物中心となっています。「帝国」の特設ページでは、「探してみよう」として、小学校で学習した内容を見つける作業を設けております。「日文」では、「チャレンジ地理」として、クラスで議論する活動が提示されています。

最後に、その他、学校意見では、「帝国」に続いて「東書」に肯定的な意見が多くありました。

社会地理的分野についての報告は、以上でございます。

次に、社会歴史的分野の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の5ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」では、導入に「探究課題」、章末に「基礎・基本のまとめ」を設定しており、章を通した課題をまとめる学習ができるように工夫されております。「教出」では、導入で学習を通して調べていく課題を3問設定し、「学習のまとめと表現」を設定しております。「帝国」では、「章・節の問い」を設定し、「章の学習を振り返ろう」として章を通した課題をまとめる活動を設定しております。「山川」では、導入で写真資料や年表を示し、「まとめ」で振り返りを行っております。「日文」では、編の導入に「めあて」を設定し、「学習の整理と活用」の活動を行う展開となっています。「育鵬」では、資料読み取りの課題「Q」を示し、「まとめ」を行う展開となっております。「学び舎」では、各時代の学習に関わる「学習課題」を設定し、「まとめ」を行う展開となっております。

次に、構成・分量です。1時間の授業は、基本的に見開きとなっており、「東書」「教出」「帝国」「山川」「日文」「育鵬」では、「導入の資料」「学習課題」「本文」「振り返り」を行う展開となっております。「東書」では、小学校の学習内容を中心に構成した年表を掲載しています。小学校の学習との接続を図る手だてとして「分野関連マーク」が付されています。「山川」では、高等学校との接続を意識して内容が構成されております。巻頭・巻末・発展等の内容について取り扱う時間が、「東書」は12時間、「教出」は設定なし、「帝国」は8時間、「山川」は3時間、「日文」は20時間、「育鵬」は設定なし、「学び舎」は8時間となっております。

次に、表現です。「東書」「教出」「帝国」「山川」「日文」は、カラーユニバーサルデザインや、特別支援教育の視点を配慮していることを示しております。「東書」「帝国」「日文」は、年表を見開きのページ下部や右端等に示し、学習内容の時期を捉えやすくす

る工夫をしております。

次に、使用上の便宜です。「東書」「教出」「帝国」「山川」「日文」では、2次元バーコード等を活用したデジタルコンテンツを採用しております。

最後に、その他、学校意見では、「東書」に肯定的な意見が多くありました。

社会歴史的分野についての報告は、以上でございます。

続きまして、社会公民的分野の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の6ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」では、「探求課題」を設定し、章末で課題を解決する展開とし、「見方・考え方」について単元冒頭で示しています。大田区の関連する内容として、「空港のピクトグラム」他計4点が掲載されています。「教出」では、各章の導入の活動に、章全体のテーマについて考える内容を示しております。また、章ごとに活用する「見方・考え方」を示しております。大田区の「人工心臓装置を開発する町工場」他4点が掲載されております。「帝国」では、「章の問い」を示し、章の学習の振り返りの中で、「見方・考え方」を獲得させるようにしております。「日文」では、「学習の始めに」として漫画を掲載し、その中で「見方・考え方」を獲得させるようにしております。「自由社」では、章を通した概要と問いを示しております。また、大田区に関連する内容として、「東京国際空港の写真」が掲載されております。「育鵬」では、導入で「テーマの入り口」を設定し、まとめる活動を行っています。大田区に関連して、「ハローワークに設置されているマザーズコーナー」ほか計2点が掲載されています。

次に、構成・分量です。巻頭・巻末・発展等の内容を取り上げる時間について、「東書」は5時間、「帝国」は3時間、「日文」は10時間、「自由社」は5時間となっております。各発行者、1時間の学習を見開きで構成しており、基本的に「導入資料」「学習課題」「本文」「振り返り」を行う展開となっております。各章のまとめで、「東書」「教出」「帝国」「育鵬」は、話し合い活動により対話的に学習内容をまとめる展開を設定しております。

次に、表現です。「東書」「教出」「帝国」「日文」は、カラーユニバーサルデザインや、特別支援教育の視点で配慮されていることが示されております。「東書」では、他分野に関連する資料に「分野関連マーク」が示されております。

次に、使用上の便宜です。「東書」「教出」「帝国」「日文」では、2次元バーコード等からデジタルコンテンツが利用できます。「東書」では、外部リンクや関連資料のほか、シミュレーションができるコンテンツ等も用意されています。

最後に、その他、学校意見では、「東書」に肯定的な意見が多くありました。

社会公民的分野の報告は、以上でございます。

続きまして、地図の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の7ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」「帝国」ともに地名等にはふりがなが付されています。「東書」では、「アジア州」「ヨーロッパ州」「北アメリカ州」に鳥瞰図が掲載されています。また、オリンピック・パラリンピックの特集ページがあります。「東書」には、関東地方の地図上に、森ヶ崎水再生センターやふるさとの浜辺公園、東京港野鳥公園等、大田区に関連する情報が比較的多めに掲載されております。「帝国」では、6州全て

に鳥瞰図が掲載されております。「帝国」では、大森貝塚、洗足池、本門寺、大田市場、東京国際空港、亀甲山古墳、調布取水堰等、大田区に関連する情報が掲載されております。また、巻末では、手話による地名の表現方法が掲載されています。

次に、構成・分量です。「東書」では、世界の各州・日本の諸地域の資料が「一般図」「基本資料」「テーマ資料」で構成されています。「東書」では、「環境・資源・エネルギー問題」「人口・貧困問題」「紛争・難民問題」を巻頭で示すなど、学習内容との関連のある内容が掲載されております。「帝国」では、「一般図」「各地方の資料」で構成されております。

次に、表現です。「東書」「帝国」ともにカラーユニバーサルデザインや特別支援教育の視点で配慮されていることが示されています。「東書」「帝国」ともに、学習上重要な「国名」「首都名」「主要都市」の名前には欧文が併記されており、英語科、国際化への対応がされております。「帝国」では、「社会的な見方・考え方」の視点に着目した「地図活用」が設定されています。「東書」では、巻末の「日本の周辺」の地図で日本の東西南北端、北方領土、竹島、尖閣諸島の写真が掲載されております。

次に、使用上の便宜です。「東書」「帝国」ともに、地図帳の使い方について、具体的な活用例を示しながら説明しています。「東書」では、2次元バーコードのリンク先として持続可能な開発目標、各地域の白地図・地理院地図、統計資料に関する主な機関、例えば総務省、気象庁、国土地理院等から選択できるようにいたしております。「帝国」では、外部リンクを主として、衛星画像、統計資料、小学校の復習などを活用することができます。

最後に、その他、学校意見では、「帝国」に肯定的な意見が多くありました。

地図についての報告は、以上です。

続きまして、数学の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の8ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」は、新たな指導内容「箱ひげ図」の学習において、実生活に即した題材で一貫した学習活動が行えるようになっております。「教出」「日文」は、索引に英語訳がつけられているなど、外国語科との関連が図られています。「啓林館」は、第1学年の「データの活用」の章で話し合い活動を多く取り入れ、問題解決的な学習を進め、最後にレポートにまとめる流れになっております。

次に、構成・分量です。「東書」は、第1学年の「正負の数」の学習の前に、小・中学校の接続を意識した単元「0章『算数から数学へ』」を設け、整数や素数、素因数分解などを扱っています。「啓林館」は、主に授業で使用する「みんなで学ぼう編」が左とじ、授業外でも生徒が学習できる「自分から学ぼう編」が右とじの2部構成となっております。「数研」は、本冊と別冊「探究ノート」の2冊組の構成となっております。

次に、表現です。「大日本」は、「〇〇さんの考え」という形で、ノートにまとめた形式で複数の考え方を分かりやすく示しています。「東書」は、「例」が赤系統、「問」は青系統の色で統一されており、見やすくなっております。加えて、「例」や「問」の範囲を表す線が左に引かれており、区切りが分かりやすくなっております。「教出」は、活用する学習内容では、右側に帯でその問題を解決する手順を載せており、問題解決の過程が分かりやすく示されています。



次に、使用上の便宜です。「大日本」には、第1・第2学年の巻末に、切り取って小冊子状にできる「各学年のまとめ」を掲載しております。「学図」では、巻末の「今の自分を知ろう」で、SDGsに関連する課題に取り組み、ループリック表で自己評価ができるようになっております。「学図」「日文」は、巻末でスクラッチを活用したプログラミングの題材を掲載しております。

最後に、その他、学校意見では、「東書」に続きまして、「大日本」「啓林館」に肯定的な意見が多くございました。

数学についての報告は、以上でございます。

続きまして、理科の特徴についてまとめた結果の要点をご報告いたします。報告書の9ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。どの発行者も「探究」の流れを意識した記載になっています。「東書」は、各ページの下部にどの時間の探究の流れになっているかを示しております。「大日本」は、各学年で特に重視する探究の過程を明確にしております。「学図」は、毎時間、課題や見方・考え方が示され、見通しをもって学習できる工夫がされております。

「教出」は、自然を探究することが基本方針となっております。「啓林館」は、主体的に探究できるよう、自分の考えを書き込める「探Qシート」があります。

次に、構成・分量です。教科書の判型は、「東書」がA4スリム判、「大日本」がB5判、「学図」「教出」「啓林館」がAB判となっております。A4スリム判は、机に教科書とノートと一緒に広げやすくなっており、AB判は紙面が広がっているため、写真やイラストなどを大きく掲載することができています。3年間の総ページ数は、「東書」919ページ、「大日本」983ページ、「学図」816ページ、「教出」973ページ、「啓林館」934ページとなっております。「学図」は、余裕をもって授業実施できるよう、短縮した配当時数を設定しています。

次に、表現です。「東書」は、見開きページで1単位時間を配当しており、探究の流れが分かりやすくなっています。どの発行者もユニバーサルデザインフォントを採用しています。「教出」は、中1ギャップの配慮として第1学年の文字を大きく設定しています。

「東書」は、単語の途中で改行しないよう配慮しています。「大日本」は、第2学年、第3学年は情報量を増やして読む力を養うことを意図しています。

次に、使用上の便宜です。2次元バーコードについては、どの教科書にも掲載されています。「東書」「大日本」「教出」「学図」は、巻頭のみを示されており、「啓林館」は、各単元の随所に示されています。デジタルコンテンツ数は、3年間を通して、「東書」71、「大日本」66、「学図」120、「教出」60、「啓林館」310 となっております。「東書」は、「どこでも科学」で手軽なものづくりを通じた学習が掲載されています。「大日本」は、「読解力問題」を各単元末に掲載しています。

最後に、その他、学校意見では、「東書」に肯定的な意見が多くありました。

理科についての報告は以上です。

## ○教育長

ありがとうございました。

では、ここで5分間の休憩をさせていただきます。開始につきましては、3時50分

らです。

それでは、休憩とさせていただきます。

( 休 憩 )

#### ○教育長

それでは、再開いたします。引き続き、教科用図書調査委員会より、令和3年度から使用する、中学校教科用図書の調査報告について、説明をお願いいたします。

#### ○田谷副委員長

それでは、副委員長より報告をさせていただきます。

それでは、音楽一般の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の10ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。どちらの発行者も、目次の次のページに学習内容と各教材との関連を掲載しています。「教出」は、教材配列を工夫し、学習内容の関連が視覚的に捉えられるよう、「学びのユニット」として、端的に表しています。「教芸」は、各学年の「学びの地図」となるよう、音楽科で身につける3つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材を図示しています。

次に、構成・分量です。判型は、どちらの発行者もA B変形判です。3年間の総ページ数は、教出が252ページ、教芸が297ページとなっています。どちらの発行者も、話し合い、協働的に学ぶ学習場面の設定をし、書き込みながら考えを整理し、段階的に学べるよう、ワークシートが構成されています。「教出」は、活動1、活動2のように段階を踏み、書き込みながら学習できる紙面構成になっています。「教芸」は、学習のポイントとなる話し合い活動が充実するように、自分の考えや感じ方を書き込む欄が充実しています。

次に、表現です。「教出」は、「学びのポイント」として、学習活動や音楽的な見方・考え方を示し、「比べてみよう」「深めてみよう」で教材同士を関連づけ、学習を発展させられるようになっています。「教芸」は、「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」を各教材に設定し、視覚的に捉えられるようになっています。「教出」は、伝統音楽のよさを味わい、愛着がもてるよう、鑑賞と表現の活動を関連づけ、全学年音楽文化の共通性と固有性を考えるページ「何が同じで、何が違う」を設定しています。「教芸」は、音や音楽が生活や社会、文化の中でどのような意味や価値を持つのかを考えられるよう、全学年「生活や社会の中の音楽」のページを設定しています。

次に、使用上の便宜です。どちらの発行者も、2次元バーコードをタブレット端末等のカメラ機能で読み取ることで、ウェブサイトアクセスできるようになっています。

「教出」は、目次の右ページ下部にある2次元バーコードから学習ウェブサイト「まなびリンク」にアクセスでき、範唱・範奏などの動画の視聴やワークシートをダウンロードすることができます。「教芸」は、右ページの下部の2次元バーコードから教材や演奏者についての動画や音声などの情報を視聴、閲覧することができます。

最後に、その他、学校意見は、「教芸」に肯定的な意見が多くありました。

音楽一般についての報告は、以上です。

それでは、音楽器楽合奏の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の11ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「教出」は、それぞれの楽器について丸囲みで、プロの演奏家による楽器の魅力を語る言葉が掲載されており、興味・関心を引く内容となっています。「教芸」は、巻頭見開きでピアニストの反田恭平氏のメッセージを掲載し、音楽文化に親しみを感じる心情を養える内容となっています。「教出」のアンサンブル曲は、22曲掲載されており、発展的な学習につなげられる楽曲が選曲されています。「教芸」のアンサンブル曲は、15曲掲載されており、クラシックから映画音楽まで幅広い選曲となっています。

次に、構成・分量です。判型は、どちらの発行者もA B変形判となっています。冊数は、どちらの発行者も3年間で1冊です。3年間の総ページ数は、「教出」が99ページ、「教芸」が107ページとなっています。アルトリコーダーの学習では、「教出」は、基本的な奏法練習の後、平易な練習曲4曲を練習し、難易度の高いブランデンブルグ協奏曲へという構成になっています。「教芸」は、基本奏法の分量が多く、「LESSON 1」から「LESSON 4」まで15曲掲載されています。

次に、表現です。「教出」は、演奏の姿勢、手元や口元がアップになった大きい写真が多く掲載されています。「教芸」は、演奏のコツについて、コラム形式で説明しています。奏法の写真数は多く、大きさはやや小さめですが、様々な角度から撮影されているものが掲載されています。

次に、使用上の便宜です。「教出」は、目次に掲載されている2次元バーコードから、情報ウェブサイト「まなびリンク」にアクセスでき、範唱や範奏など、学習に役立つ情報を視聴しながら、調べ学習をすることができます。「教芸」は、各楽器の冒頭ページ右下に、2次元バーコードが掲載されており、演奏家のプロフィールをまとめたサイトやホームページにアクセスすることができます。「教出」は、巻末の折り込みページにリコーダーの運指表、ギターやキーボードのコード表が掲載されており、練習する際に活用できます。「教芸」は、折り込みページではなく、巻末にリコーダーの運指表、ギターやキーボードのコード表が掲載されており、破れにくく長期の使用に耐えられるようになっています。

最後に、その他、学校意見では、「教芸」に肯定的な意見が多いと感じました。

それでは、続いて、美術の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の12ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「開隆堂」の美術1の導入では、高村光太郎の生き方と作品を扱っています。「図画工作から美術へ」で、小学校図画工作との違いを考えさせ、「学びの地図」で3年間の学習について示しています。「光村」の美術1の導入では、谷川俊太郎の詩「うつくしい！」に合わせて、生徒の撮影した美的な写真と言葉から、美について考えさせています。また、イラストを多用し、教科の狙いや3年間の学習について示しています。「日文」の美術1の導入では、スタジオジブリのアニメーション作品の背景画の表現や松任谷由実の言葉など、オリエンテーションに8ページを使っています。大田区に関連する内容として、「開隆堂」の2・3年生「ピクトグラムとサイン計画」で「羽田空港のピクトグラム」、「錯視の効果を生かして」では「羽田空港国際線ターミナ

ル駅」が、「日文」の2・3年上「視点の冒険」では浮世絵「はねたのわたし辨天の社」が掲載されています。

次に、構成・分量です。原寸大の作品は、「開隆堂」「光村」で合計4点、「日文」で合計6点掲載されています。

次に、表現です。「開隆堂」「光村」は、資料の配置やレイアウトに統一感があります。画像間に余白があり、すっきりしています。「日文」は、ページごとに構成が異なり、題材ごとに配置が大きく変化し、全体的に余白が少なく、ページごとの情報量が多くなります。写真の上に文字が印刷されたページがあります。「開隆堂」は、各単元の作品に通し番号が振られています。立体作品は、「開隆堂」「光村」では輪郭で切り取り、背景なしで処理をしており、「日文」では、撮影時の背景を採用しているものもあります。

「開隆堂」「日文」では、制作手順の写真が、「光村」では、制作手順の写真及び「みんなの工夫」として中学生の実際の制作過程の写真が記載されています。

次に、使用上の便宜です。「光村」では、和紙調のページやトレーシングペーパーのページがあります。「開隆堂」は、A4ワイド判2冊、第1学年と第2・3学年、「光村」は、A4判2冊で第1学年と第2・3学年、「日文」は、A4ワイド判3冊、第1学年、第2・3学年上と第2・3学年下となっています。

最後に、その他、学校意見では、「光村」「日文」に肯定的な意見が多くありました。美術についての報告は以上です。

それでは、保健体育の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の13ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。どの発行者も、各単元の最後に、学習のまとめがあり、1単元の振り返りがあります。「東書」「大修館」「学研」は、問題形式のまとめとなっており、「大日本」は、「重要な言葉」としてまとめられ、WEBで「まとめの問題」を掲載しています。心身の発達と心の健康では、「大修館」の資料では、明確な絵が描かれています。「大修館」は、感染症に関して3単位時間を設けています。また、飛沫感染、接触感染といった感染経路の違いについて、分かりやすく図解しています。「学研」では、LGBTについて詳しい説明を加え取り上げています。「東書」は、「見つける、課題の解決、広げる」と全ての単元で一貫したレイアウトになっており、授業の流れがつかみやすくなっております。

次に、構成・分量です。判型は、どちらの発行者もA4判となっていますが、「大日本」のみ横幅が1センチメートルほど小さくなっています。3年間のページ数は、「東書」191ページ、「大日本」171ページ、「大修館」183ページ、「学研」は200ページとなっています。

次に、表現です。どの発行者も、見開きページで1時間を配当しています。「大日本」は、左ページに文章、読む内容となっており、右ページに絵や写真を含む資料、見開き1単位時間の構成になっていて一貫性があります。

次に、使用上の便宜です。デジタルコンテンツ数は、3年間を通して、「東書」50、「大日本」36、「大修館」30、「学研」31となっています。「大修館」は、大田区出身の書道家や、大田区内の学校の様子などの写真が記載されています。「大日本」は、心肺蘇生法の手順が折り込みで一覧になっています。「学研」は、1単位時間ごとに関わる様々

な職業や資格を見開きに「JOB」として紹介し、生徒のキャリア教育につながっています。「東書」は、全学年幅広く網羅された自作動画等のデジタルコンテンツがあり、キーワードとして重要な語句をまとめてあり、巻末にそれら全ての解説を掲載しています。

最後に、その他、学校意見では、「大修館」「学研」に肯定的な意見が多くありました。

保健体育についての報告は以上です。

続きまして、技術・家庭技術分野の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の14ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」は、問題解決に取り組むときに必要な「TECH Lab」のページが充実しており、使用する工具・機器の基礎的な使い方などについて、分かりやすくまとめられています。「教図」は、小单元ごとに「めあて」と「キーワード」がまとめてあり、内容を確認して振り返ることができます。「開隆堂」は、单元ごとに「考えてみよう」「調べてみよう」「確認してみよう」「話し合ってみよう」といった学習の流れが明確になっており、考える活動がしやすくなっています。

次に、構成・分量です。3年間の総ページ数は、「東書」291ページ、「教図」327ページ、「開隆堂」296ページとなっています。「東書」は、「B生物育成の技術」、「教図」は、「Cエネルギー変換の技術」と「D情報の技術」、開隆堂は、「A材料と加工の技術」の分量が多くなっています。「教図」は、安全に実習するための別冊の「技術ハンドブック」がついています。

次に、表現です。「東書」は、ページの下に「技術の工夫」として学習内容に関連するコラムがあります。ページ右下にパラパラ漫画があり、動画の原理を理解することができるようにしています。「教図」は、フォントが大きく見やすく、キーポイントとなる単語や文章に水色の着色があり、分かりやすくなっています。本文と関連した資料が黄色の蛍光色で表示されており、参照しやすくなっています。「開隆堂」は、本文中の全ての表や図に通し番号がつけられています。ページの下に「豆知識」として補足説明、ページの右上に工具紹介などがあります。

次に、使用上の便宜です。2次元バーコードについては、どの教科書にも掲載されています。「東書」は、「コンピュータの基本操作」「用語解説」「今すぐできる！プログラミング手帳」が巻末についています。「教図」は、「夢をかなえる技術」「将来のあなたへ先輩からのメッセージ」とワークシート「設計計画表にまとめよう」が巻末についています。「開隆堂」は、「コンピュータの基本操作」「プログラミング」が巻末についています。

最後に、その他、学校意見では、「開隆堂」に続いて「東書」に肯定的な意見が多くありました。

技術・家庭技術分野についての報告は以上です。

それでは、技術・家庭家庭分野の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の15ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」は、ガイダンスのページに「自分の生活をチェックしよう」があり、「3年後には、生活の中でどんなことができる自分になりたいか」を考えることができます。「教図」は、日本の文化、和服の文化についての内容がや

や少ないです。「開隆堂」は、「体に入った栄養素のゆくえ」のページは、消化・吸収についての理解を深めることができます。

次に、構成・分量です。3年間の総ページ数は、「東書」291 ページ、「教図」295 ページ、「開隆堂」299 ページとなっています。「東書」は、「私たちの食生活」から学習を始めるよう構成されています。「私たちの成長と家族・地域」では、後で学習できるように構成されています。「教図」は、クレジットカードによる買物の仕組みが2ページにわたって掲載されています。「開隆堂」は、折れ線、棒グラフが多く使用されており、視覚的に捉えやすく内容が把握しやすいです。

次に、表現です。「東書」は、手縫いの基礎のまつり縫い、スナップつけなどの部分的な拡大写真が多く、説明も分かりやすくなっています。「教図」は、巻頭部分に、日本の「年中行事」と「人生のお祝い事」が見開きで分かりやすくまとめられています。「開隆堂」は、「日常食の調理」の実習例ページのアレルギー物質を含む食材に分かりやすく黄色のマーカーが引いてあり、配慮されています。

次に、使用上の便宜です。2次元バーコードについては、どの教科書にも掲載されています。「東書」は、「防災・減災手帳」と組立式の「子どもの視覚体験眼鏡」が巻末に付いています。「教図」は、「学びを生かそう」「生活の課題と実践」などが、問題解決的な学習の一例が示されています。「開隆堂」は、「生活の課題と実践」で、学習してきたことを生かして自ら課題を解決し実践できるようにしています。

最後に、その他、学校意見では、「開隆堂」に続いて「東書」に肯定的な意見が多くありました。

技術・家庭家庭分野についての報告は以上です。

それでは、英語の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の16ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「東書」は、小学校から中学校への接続と位置付けられている内容の多さに特徴があります。「教出」は、小・中の接続について、スゴロクゲームで楽しみながら取り組める構成となっています。「光村」は、中学校・高等学校の接続としてGoal計14回、Let's Read計14回、Think計37回、Story Telling計24回を設定しています。本文の内容理解だけでなく、毎単元末に今後の展開を予想・考えさせるような工夫があり、読解力・思考力・表現力がおのずと育成されるような内容になっています。

次に、構成・分量です。「開隆堂」は、全てのレッスンの導入に2コマ漫画を入れ、生徒に難しく感じさせない工夫を行っています。「光村」では、Daily Life、Let's Read、World Tourがあり、世界との玄関口である国際都市おおたの生徒にふさわしい内容となっています。「三省堂」の情報量は、全体的に多いものの、自学自習のページを設け、学校や学年の生徒の実態に応じて必要な分野に時間を費やすことができるような工夫がされています。

次に、表現です。「東書」のみ判型をA4判とし、ページを増やさずに、視覚的情報や長めの文章を多く掲載する工夫をしています。「三省堂」は、教室にいる登場人物のイラストにおいても制服を着ておらず、私服の中学校という場面設定を行っています。

次に、使用上の便宜です。「啓林館」は、全体の構成が見通せる工夫として、巻頭に

「CONTENTS もくじ」「この教科書の使い方」を設けており、生徒が見やすく、使いやすい工夫があります。「光村」の2次元バーコードは、全学年で468個あり、6者の中で一番多いです。習熟に時間のかかる生徒への配慮や、家庭学習を支援する内容となっています。「教出」では、全学年の付録を用いて、Q&A「質問したり答えたり」の練習やチャット「リアルタイムに会話をすること」ができる工夫があります。また、付属の赤いマスキングシートにより、生徒が自主学習できる工夫もなされています。

最後に、その他、学校意見では、「三省堂」に続いて「東書」に肯定的な意見が多くありました。

英語についての報告は以上です。

それでは、道徳の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の17ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。「日文」「あかつき」は、「読みもの」「道徳ノート」の2冊構成で、その他の発行者は1冊構成になっています。どの発行者も、いじめ問題・情報モラル、命に関する資料が掲載されています。また、どの発行者もオリンピック・パラリンピックの内容の資料が掲載されています。「東書」「学研」は、最後に2つ程度、「教出」「光村」「日文」「あかつき」「日科」は、3つ以上の発問例が掲載されています。「日文」の第2学年に大田区の町工場を題材とした「小さな工場の大きな仕事」という読み物教材があります。「教出」「日文」「日科」には、羽田空港を清掃する新津春子さんを題材とした読み物教材があります。

次に、構成・分量です。どの発行者も4つの柱、「A、主として自分自身に関すること。B、主として人との関わりに関すること。C、主として集団や社会との関わりに関すること。D、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。」を学べるように配列されています。「光村」では、目次において月ごとに学習のまとまりを示しています。「日科」では、A、B、C、Dの柱の順番に資料が配列されています。

次に、表現です。「東書」「教出」「光村」「日文」「学研」「あかつき」は、生徒にとって分かりやすい文字や色使いをするなどユニバーサルデザインに配慮されています。「教出」「日文」「学研」は、教材が右ページから始まっています。「学研」は、写真、挿絵、グラフ等が多く掲載されています。

次に、使用上の便宜です。全ての発行者で、道徳科の学習に対して学び方の指針をもたせるためのページが設けられています。「東書」は、付録として切り取って使用できるホワイトボードと心情円などがあります。「東書」「日文」「学研」には、学習状況を自己評価させる欄があります。「教出」「あかつき」には、個々の教材ごとに学習を振り返らせる欄があります。「光村」には、1時間ごとに学習を記録させる欄があります。「日科」には、1年間で個々の内容項目ごとに自己評価させる欄があります。

最後に、その他、学校意見では、「日文」に続いて「東書」に肯定的な意見が多くありました。

道徳についての報告は以上であります。

以上で報告を終わります。

○教育長

加藤委員長、田谷副委員長から報告を頂きました。加藤委員長、田谷副委員長、ありがとうございました。

それでは、ただいまの報告について、ご質問はございますでしょうか。

### ○三留委員

総括的な質問を2点いたします。

1点目は、生徒の主体的学習を支える教科書という観点から質問いたします。今回の学習指導要領では、総則に「生徒が各教科の特質に応じた見方考え方を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること」が新たに挿入されました。また、「教育課程の実施と学習過程」の項では、「生徒が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫すること」「生徒自らが学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、生徒の関心を生かした自主的・自発的な学習が促されるよう工夫すること」があります。さらに、総則の冒頭の文章には、新たに「多様な人々との協働を促す教育の充実」も入れられました。こうした流れがある中で、各教科等で「生徒による見通しから振り返りに至る学習過程」に関わる各社の教科書の取扱い、特色について、調査委員会としてのお考えをお聞かせいただきたいと思えます。

2点目は、今回の教科書で顕著になった2次元バーコードやURLからアクセスするデジタルコンテンツに関して質問いたします。学習指導要領総則には、「情報活用能力の育成を図るために、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するための必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」とあります。大田区では、学習指導要領改訂以前から、学校におけるICT環境の計画を作り、その充実を図っているところでございます。先日出された文部科学白書では、生徒1人1台端末整備のGIGAスクール構想を加速することとし、文部科学省も年度内実現を目指しているところであります。また、法改正により、既に学習者用デジタル教科書も使用できることになりました。今月行われた文部科学省の有識者会議では、児童・生徒用デジタル教科書の本格導入を目指して制度の見直しを始めるとのことです。情報機器を使って、多様な学習を進めることは、これからの必然的な流れであります。今回の教科書で、そうしたことに関わることの1つとして、各社の教科書に載せられている2次元バーコードやURLからアクセスするデジタルコンテンツによる学習があると考えています。各教科書からデジタルコンテンツへアクセスして学習できるようになったことの意義、各教科書会社、各教科等において、デジタルコンテンツの扱い等について特色、差異が見られれば、調査委員会としてのお考えをお聞かせいただきたいと思えます。

### ○加藤委員長

それでは、お答え申し上げます。

どの教科におきましても、「主体的・対話的で深い学び」の表現の実現を目指し、生徒が主体的に取り組める学習の流れを明確に示しております。また、各発行者で内容のおさえ方や構成等は様々ではありますが、新たな学びの課題に対応し、学習を見直し振り返る



能力と、学習の過程に即して課題解決へ向かう能力を育成し、資質・能力育成の具現化を目指した内容の工夫がされており、どの教科書を使用しても、特段の不都合は生じないものと考えております。

また、変わる部分でございますが、今回の教科用図書では、デジタルコンテンツが使用されている教科書が多くございました。その背景として、学校教育法等の一部を改正する法律により、2019年4月から、紙の教科書の一部をデジタル教科書に代えて使用することが認められることになったことや、GIGAスクール構想が打ち出されたことにあると思います。大田区といたしましても、各学校のタブレットの台数を増やし、ICT教育の充実を推進しております。2次元バーコードにつきましては、活用されていない出版者も一部ございますが、ほとんどの出版者には掲載されており、デジタルコンテンツへアクセスできるようになっております。各出版者の特色は様々でございますが、巻頭にのみ2次元バーコードが記載され、そこから該当のコンテンツを探して活用する示し方と、本文中の随所に2次元バーコードが記載され、そこから直接学習に関連するコンテンツにリンクされている示し方がございます。また、リンク先も、自社サイトにいく出版者と外部サイトに直接いく出版者がございます。ただし、2次元バーコードに示されているデジタルコンテンツは、あくまでも補助教材でありまして、使用上の便宜の項目における各発行者の特徴の1つとしてまとめさせていただきました。

以上でございます。

#### ○教育長

ありがとうございました。

ほかにご質問は。

#### ○深澤委員

先ほどの三留委員のご質問に関連しますが、今回改訂された教科書には、2次元バーコードを取り入れられているものが数多く見られます。2次元バーコードの存在について、科目や内容によって異なるとは思いますが、学校意見はその有用性についてどのような受け止め方が多かったか、また調査委員会で2次元バーコードの存在及び有用性について何かご意見がありましたら、ご教示お願いします。

#### ○加藤委員長

お答え申し上げます。

学校意見では、教科によって多少受け止め方に違いはございます。しかし、デジタルコンテンツに関する意見のほとんどは、授業で活用する際に使いやすいかどうかという点でございました。調査委員会では、各発行者におけるデジタルコンテンツの内容について、内容も様々で、学習支援に関する補助資料や動画資料、ワークシート等を示しているコンテンツや、生徒自身で自学自習の支援となるコンテンツ、練習問題や復習問題などを示しているコンテンツがあり、有用性についても各教科、各単元によって様々なものがあるなど見させていただきました。

以上でございます。

○教育長

ほかにございますか。

○深澤委員

もう1つ質問をお願いします。東京書籍の歴史的分野等において、自分でチャートやウェビングなどの思考ツールを活用する教材があります。思考ツールを活用することは、学習の理解や定着にどの程度の効果があるかについて、ご教示をお願いします。

○加藤委員長

お答え申し上げます。東書の歴史的分野などには、チャートやウェビングなど、いわゆるシンキングツール、思考ツールが学習のまとめの活動として活用されております。シンキングツール、思考ツールの効果といたしまして、思考のプロセスが見えるようになり、自分の考えた経過を視覚的に把握することが可能となっております。また、考えや情報を整理し、つながりを明確にすることができるのと同時に、学習者同士の意見交換の際に共有しやすくなる効果が期待できる内容となっております。

以上であります。

○深澤委員

ありがとうございました。

○教育長

ほかにご質問は。

○北内委員

私からは、質問ではなくてコメントです。

先程、三留委員と深澤委員からありましたが、デジタルコンテンツとかICTをぜひ活用していただいて、多様な教育機会を子どもたちに作っていただきたいなと思っています。引き続きよろしくお願いします。

○加藤委員長

それでは、私どもの区民の中でも地域の代表のお母さんたちの意見だったのですが、これからは教科書を通じて娘といろいろな意見が交換できるのではないかというものがありました。あるいは、学校においては、今はタブレットを使った学習を進めておりまして、今の日本がいわゆる嫌な世の中で、なかなか学校は学習に苦慮しているところがございますが、タブレットを使用したものが非常によく活用されており、今年度はできたらその改善策を一步進めていく、そういうような内容になったり、大田区ではGIGAスクールとか、あるいは実際社会に向けて、私の考えですと、柔らかく入ってくるような感じがします。

以上でございます。

○教育長

ありがとうございました。よろしいですか。

それでは、ご質問が無いようですので、これにて調査委員会からの報告を終了いたします。

なお、審議・採択は、8月11日火曜日の定例会及び12日水曜日の臨時会にて行う予定でございます。また、8月13日木曜日を予備日として予定してございます。既に、委員の皆様には、教科用図書をご覧いただいておりますけれども、本報告書を参考に、さらなる調査研究を進めていただくようお願いいたします。

それでは、これもちまして、令和2年第6回教育委員会定例会を閉会します。

(午後4時38分閉会)